

伊手だより9月号



[発行]伊手振興会（伊手地区センター）

〒023-1761 奥州市江刺伊手字西風54番地 TEL・FAX 0197-39-2121

E-mail ideshink@pup.waiwai-net.ne.jp

ホームページ <https://esashiide.jimdofree.com/>（QRコードからもご覧いただけます）



振興会

伊手地区敬老会開催のお知らせ

長寿をお祝いするとともに豊かな老後を願い、伊手地区敬老会式典を開催します。
式典へのご招待は、白寿1名、卒寿18名、米寿23名、傘寿16名、喜寿31名の計89名といたしました。
なお、対象者の方々347名には、つながる委員会委員が記念品をお届けします。

- ◆日時 9月14日(土) 午前10時 受付
午前10時30分 式典開会
式典終了後 写真撮影

- ◆場所 伊手地区センター 体育室

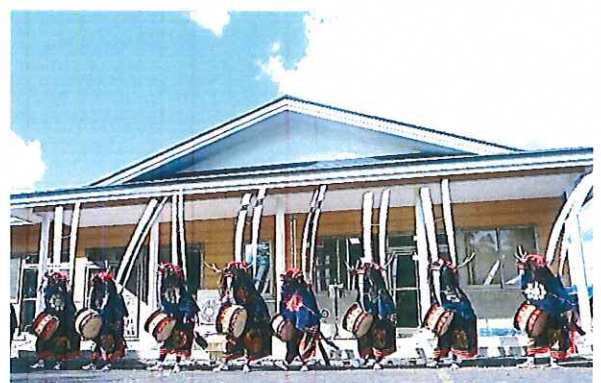
長寿



伊手夏まつりを開催しました！

伊手夏まつり実行委員会を組織し、8月15日午後3時から地区センターで開催されました。約300人の方々が訪れ、オープニングセレモニーの25歳年祝連・伊手金津流獅子躍りの演舞、その後、カラオケ、クイズ大会、大抽選会、花火をたくさんの方が楽しみ久々に交流をされました。各委員会、区長会、JA青年部、伊手子供会、伊手婦人会、伊手地区食改善等の方々が出店した焼き鳥や唐揚げ、生ビールやジュース、ピザ、かき氷、綿あめ、ヨーヨー釣り等大盛況でした。

皆さん楽しいひと時を過ごされ、来年も開催をしてほしいと多くの方からお声を頂きました。



趣旨 ランニング・ジョギングをライフワーク、趣味としている方々と「駅伝」という日本の文化をとおして伊手地区以外の選手たちと交流する機会をつくり、お互いに刺激を受けることで今後の各々の目標達成や自己実現のきっかけになることを目的とする。また、伊手地区の活性化の一助として行い、農村RMOと並行して魅力のある地域作りを目指したい。

主催 江刺西風クラブ(渡邊 厚志・三瓶 聖和) 協賛 伊手振興会 伊手第4, 5, 6 区自治会

日時 令和6年9月22日(日)雨天決行 開会式 競技打合せ・注意事項 9時10分

競技開始 10時00分

競技形式 男子、女子合計6人(年齢不問)の継走によるチーム対抗とする。

※原則として男子4名女子2名のチーム編成での走路区間を設定しているが元々公式の競技大会ではないので、各チームの選手状況により概ね自由編成でも構いません。オープン参加扱いとはしないで基本的にチーム対抗として順位をつけますので各区の選手間の交流、刺激となれば幸いです。

走路区間 (コース6区間)

1区(女子) 第6区自治会館前～小迎・隅川地内～第6区自治会館前 1.6km

2区(男子) 第6区自治会館前～小迎・隅川・古舘・松田・玉川・馬場崎地内～上伊手線
～第6区自治会館前 3.8km

3区(男子) 第6区自治会館前～小迎・隅川・古舘・松田・地ノ神・玉川・馬場崎地内
～上伊手～第6区自治会館前 5.1km

4区(女子) 1区と同じ 5区(男子) 2区と同じ 6区(男子) 3区と同じ

※区間距離は個人のランニングウォッチでの計測によるものであくまで参考距離。

※各区間の計測はストップウォッチを使用し、発着場を第6区自治会館前と統一し、概ねのタイム結果となります。ご了承ください。

参加資格 日常ランニングを趣味として走り切れる自身のある者

留意事項

交通量の少ないコースだが、使用許可はとっているが交通規制はかけてないので誘導員の指示に従って選手は路上左側を走ること。また追い越す際も道路中央に寄らないこと。また応援のための車の伴走は認めません。応援の車はコース外の安全な場所に停車すること。

選手更衣室

第6区自治会館



※当日、開催中の時間に近くを車両通行する際は、十分ご注意ください。

8/15 開催 第3回お盆ソフトボール大会 結果 優勝 第2区 準優勝 第1区

第22回伊手地区民グランド ゴルフ交流大会結果

7月23日参加者21名が熱中症警戒アラート指数を確認しながら楽しく競技を行いました。

優勝 佐藤常子さん 57打
準優勝 和川 宰さん 57打
第3位 渡邊義憲さん 60打



まなぶ委員会

7月27日開催された『第2回おいで伊手！サマーキャンプ 2024』で“竹灯籠”作りを行い、江刺教育振興会連合会交付金を活用しました。小学4～6年生の子ども達30人はボランティアと一緒に電動ドライバーを使用して、選んだ模様に合わせ穴を開け作成しました。LEDライトで浮き上がった灯籠はきれいで、30の個性が光っていました！



くらす委員会

秋のクリーン行動の日

9月8日(日) 6:00～ 各自治会指定場所

9月は大掃除推進月間各家庭で実施しましょう。



秋の農作業安全月間

9月15日(日)～11月15日(金)

「ひと休み 急がば回れ 農作業
ゆとり忘れず 安全管理」

秋の全国交通安全運動

9月21日(土)～9月30日(月)

「反射材 光って気づいて 事故防止」

交通事故死ゼロを目指す日 9月30日



つながる委員会

8/7 かたりあいの輪福祉懇談会！

参加者は25人、「ささえあい協賛金の一般会費への一元化(900円⇒1,100円)について」を話し合い、多くの質問や意見が出されました。

いでっ子くらぶ

8月9日、

バス遠足に行ってきました！
今年は、参加者 37 人(児童 18 人、保護者・支援員等 19 人)で、「うみの杜水族館」へGo！イルカ・アシカのパフォーマンスを楽しみました。

(一番前を陣取って、ずぶ濡れになった子供たちも・・・)
大興奮して楽しかったね！



がん検診のお知らせ



伊手地区センター体育室を会場にがん検診が行われます。
忘れずに受けましょう。

検診内容

結核・肺がん・大腸がん検診

受付日時

9月17日(火)

伊手地区センター(体育室)

13:30～15:00

9月のごみ・リサイクル収集日

燃えるごみ	3.6.10.13.17. 20.24.27
燃えないごみ	18
リサイクル全品目	9
プラのみ	—

「いで・ごー」7月のご利用者数 のべ46名
随時「利用者登録」承ります。

地区センター☎39-2121まで

【伊手地区の人口】令和6年7月31日現在

人口 1,344人 世帯数 605世帯
男性 664人 女性 680人

伊手駐在所だより

奥州警察署
伊手駐在所
☎39-2215

反射材 光って気づいて 事故防止

秋の全国交通安全運動

【運動期間】

令和6年9月21日(土)から9月30日(月)までの
10日間

交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(月)

【運動重点】

- 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底



日没時間が急激に早まる秋口以降は、夕暮れ時や夜間に交通事故が増加する傾向にあります。

一人ひとりが交通ルールを守るとともに、

「思いやり・ゆずり合い」の気持ち

を持った運転を心掛け、交通事故防止に努めましょう。

※ 右側のQRコードを携帯電話のカメラ機能等で読み取りご活用下さい。岩手県警察のホームページを閲覧できます。



メリット

- 交通事故の加害者にならない。
- 自動車の維持費がなくなる。
- 運転経歴証明書を取得できる。
- 歩く機会が増え、健康面でも良い。

デメリット

- 移動が制限される。
- 運転が好きなのは楽しみが減る。
- 農作業車が運転できない。

「運転を考えてみませんか？」免許自主返納

NO! GUNS 私たちの街に拳銃はいらない

銃器犯罪は、国民、県民の生活に大きな恐怖や不安を与えます。

銃器犯罪のない平穏な社会を築くため、拳銃に関する情報の提供をお願いします。

【拳銃に関する情報】

- ・ 拳銃を持っている(持っている人を知っている)
- ・ 他人から拳銃の保管を押しつけられて困っている
- ・ 遺品整理をしていたら拳銃を発見した
- ・ 玩具銃を改造した改造拳銃や鉄パイプ等を加工した手製の密造拳銃を製造、所持している人を知っている。など

【拳銃110番報奨制度】

この制度は、通報者の情報を基に拳銃が押収され犯人が検挙されたとき、状況に応じて報奨金が支払われる制度です。

通報受付電話番号

「0120-10-3774 (ジュウ ミナナシ)」

拳銃に関する情報は上記の連絡先や、最寄りの警察署、又は警察安全相談電話「#9110」に御相談下さい

伊手駐在所から

- ▼ 夏休みも終了しました。心配されるのは登下校時の児童・生徒の交通事故です。皆で見守り、交通事故から児童生徒を守りましょう。



～ 山の恵みの収穫よりも

安全第一で!! ～

キノコ採りの遭難事故を防ぎましょう

- 1 過去5年で8人が死亡、1人が行方不明
 昨年は、21人の方がキノコ採り中に遭難し、うち2人が亡くなっています。主な原因は道迷いで、いずれも65歳以上の方でした。
 - 2 装備や準備を万端に
 キノコ採りで山に出掛けるときは、次のことを心掛けましょう。
 - (1) 家族や知人に行き先、帰宅予定時刻を知らせ、早出・早帰りをする。
 - (2) 天候が悪くなりそうときは、山に入るのをやめる。
 - (3) 救出に欠かせない携帯電話は必ず携帯する。万が一に備え、食糧、雨具、懐中電灯などを持参する。
 - (4) 必ず2人以上で入山し、声を掛け合ってお互いの位置を確かめながら行動する。
 - (5) 健康状態に応じて無理をしない。
 - (6) 熊による被害が発生していることから熊よけの鈴やラジオを携帯する。
- 山の事故は大事に至ります。
 ～遭難防止に十分気を付けましょう。～

